ヨナ書

ニネベに預言せよ。

1

1 [1]アミタイの子[2]ヨナに次のような**主**のことばがあった。

2 「立って、あの[1]大きな町[2]ニネベに行き、これに向かって[3]叫べ。彼らの[4]悪がわたしの前に上って来たからだ。」

3 しかしヨナは、[1]**主**の御顔を避けて[2]タルシシュへのがれようとし、立って、[3]*ヨッパに下った。彼は、タルシシュ行きの船を見つけ、船賃を払ってそれに乗り、**主**の御顔を避けて、みなといっしょにタルシシュへ行こうとした。

寝込む。

水夫は恐れる。

4 そのとき、[1]**主**が大風を海に吹きつけたので、海に激しい暴風が起こり、船は難破しそうになった。

5 水夫たちは恐れ、彼らはそれぞれ、[1]自分の神に向かって叫び、船を軽くしようと船の[2]積荷を海に投げ捨てた。しかし、ヨナは船底に降りて行って横になり、ぐっすり寝込んでいた。

6 船長が近づいて来て彼に言った。「いったいどうしたことか。寝込んだりして。起きて、あなたの神にお願いしなさい。[1]あるいは、神が私たちに心を留めてくださって、私たちは滅びないですむかもしれない。」

ヨナをいけにえにする。

7 みなは互いに言った。「さあ、[1]くじを引いて、だれのせいで、このわざわいが私たちに降りかかったかを知ろう。」彼らがくじを引くと、そのくじは[2]ヨナに当たった。

だれのせいか

8 そこで彼らはヨナに言った。「だれのせいで、このわざわいが私たちに降りかかったのか、[1]告げてくれ。あなたの仕事は何か。[2]あなたはどこから来たのか。あなたの国はどこか。いったいどこの民か。」

9 ヨナは彼らに言った。「私は[1]ヘブル人です。私は[2]海と陸を造られた[3]天の神、**主**を[4]礼拝しています。」

10 それで人々は非常に恐れて、彼に言った。「何でそんなことをしたのか。」人々は、彼が**主**の御顔を避けて[1]のがれようとしていることを知っていた。ヨナが先に、これを彼らに告げていたからである。

11 彼らはヨナに言った。「海が静まるために、私たちはあなたをどうしたらいいのか。」海がますます荒れてきたからである。

ヨナ：投込め。

12 ヨナは彼らに言った。「私を捕えて、海に投げ込みなさい。そうすれば、海はあなたがたのために静かになるでしょう。わかっています。この激しい暴風は、[1]私のためにあなたがたを襲ったのです。」

13 [1]その人たちは船を陸に戻そうとこいだがだめだった。海がますます彼らに向かって荒れたからである。

人々：投込む。

14 そこで彼らは[1]**主**に願って言った。「ああ、**主**よ。どうか、この男のいのちのために、私たちを滅ぼさないでください。[2]罪のない者の血を私たちに報いないでください。**主**よ。[3]あなたはみこころにかなったことをなさるからです。」

15 こうして、彼らはヨナをかかえて海に投げ込んだ。

---

1 ①ヨナ一〜三章、マタ一二・三九〜四一、一六・四、ルカ一一・二九、三〇、三二 ②II列一四・二五
2 ①ヨナ三・三、四・一一 ②創一〇・一一、一二、II列一九・三六、イザ三七・三七、ナホ一・一、ゼパ二・一三 ③イザ五八・一 ④創一八・二〇、エズ九・六、ホセ七・二、ヤコ五・四、黙一八・五
3 ①詩一三九・七、九、一〇 ②イザ二三・一、六、一〇、エレ一〇・九 ③ヨシ一九・四六、II歴二・一六、エズ三・七、使九・三六、四三
*[ヘ]「ヤフォ」
4 ①詩一〇七・二五、一三五・七
5 ①I列一八・二六 ②使二七・一八、一九、三八
6 ①ヨナ三・九、IIサム一二・二二、アモ五・一五
7 ①ヨシ七・一四〜一八、Iサム一〇・二〇、二一、一四・四一、四二、使一・二六 ②箴一六・三三
8 ①ヨシ七・一九、Iサム一四・四三 ②創四七・三、Iサム三〇・一三
9 ①創一四・一三、出一・一五、二・一三 ②ネヘ九・六、詩九五・五、一四六・六、使一七・二四 ③エズ一・二、ネヘ一・四、詩一三六・二六、ダニ二・一八 ④II列一七・二八、三二、三三
10 ①ヨナ一・三
12 ①IIサム二四・一七、I歴二一・一七
13 ①箴二一・三〇
14 ①ヨナ一・一六 ②申二一・八 ③詩一一五・三、一三五・六

すると、海は激しい怒りをやめて[1]静かになった。

16 人々は非常に**主**を恐れ、**主**にいけにえをささげ、[1]誓願を立てた。

17 **主**は大きな魚を[1]備えて、ヨナをのみこませた。ヨナは[2]三日三晩、魚の腹の中にいた。

2

1 ヨナは魚の腹の中から、彼の神、**主**に[1]祈って、

2 言った。

ヨナのいけにえ（祈り）

「[1]私が苦しみの中から**主**にお願いすると、
主は答えてくださいました。
私が[2]よみの腹の中から叫ぶと、
あなたは私の[3]声を聞いてくださいました。

3 あなたは私を海の真中の深みに
投げ込まれました。
[1]潮の流れが私を囲み、
あなたの波と大波がみな、
私の上を越えて行きました。

4 私は言った。
『私はあなたの目の前から[1]追われました。
しかし、もう一度、私はあなたの[2]聖なる宮を
仰ぎ見たいのです。』と。

5 水は、私ののどを絞めつけ、
[1]深淵は私を[2]取り囲み、
海草は私の頭にからみつきました。

6 私は山々の根元まで下り、
地のかんぬきが、
いつまでも私の上にありました。
しかし、私の神、**主**よ。
あなたは私のいのちを
*穴から[1]引き上げてくださいました。

7 私のたましいが私のうちに[1]衰え果てたとき、
私は[2]**主**を思い出しました。
私の[3]祈りはあなたに、
あなたの[4]聖なる宮に[5]届きました。

8 むなしい[1]偶像に心を留める者は、
自分への恵みを捨てます。

9 しかし、私は、感謝の声をあげて、
あなたに[1]いけにえをささげ、
私の[2]誓いを果たしましょう。
[3]救いは***主**のものです。」

10 **主**は、[1]魚に命じ、ヨナを陸地に吐き出させた。

ニネベに預言せよ

3

1 [1]再びヨナに次のような**主**のことばがあった。

2 「立って、あの[1]大きな町[2]ニネベに行き、わたしがあなたに告げることばを[3]伝えよ。」

3 ヨナは、**主**のことばのとおりに、立ってニネベに行った。ニネベは、行き巡るのに三日かかるほどの非常に大きな町であった。

4 ヨナは初め、その町にはいると、一日中歩き回って

---

15 ①詩六五・七、八九・九、九三・三、四、一〇七・二九、マタ八・二六、マコ四・三九、ルカ八・二四
16 ①詩五〇・一四、六六・一三、一四
17 ①ヨナ四・六 ②マタ一二・四〇、一六・四、ルカ一一・三〇
1 ①詩一三〇・一、二、一四二・二、哀三・五五、五六
2 ①Iサム三〇・六、詩一八・四〜六、一二〇・一 ②詩一八・五、六、八六・一三、八八・三〜七、イザ一四・九 ③詩六五・二
3 ①詩四二・七、哀三・五四
4 ①エレ七・一五 ②I列八・三八、II歴六・三八、詩五・七
5 ①詩六九・一、二、一四、一五 ②詩一八・一五、二六・三
6 *あるいは「滅び」 ①詩三〇・三、イザ三八・一七
7 ①詩一四二・三 ②詩七七・一〇、一一、一四三・五 ③→イザ一・一五 ④ヨナ二・四、詩六五・四、ミカ一・二、ハバ二・二〇 ⑤II歴三〇・二七
8 ①II列一七・一五、一六、詩三一・六、エレ一〇・八、一六・一九、二〇
9 ①詩五〇・一四、二三、一一六・一七、エレ三三・一一 ②ヨブ二二・二七、詩二二・二五、一一六・一八、伝五・四、五 ③詩三・八、イザ四五・一七
*あるいは「主から来ます」
10 ①ヨナ一・一七
1 ①ヨナ一・一、二
2 ①ヨナ一・二 ②ヨナ一・二 ③エレ一・一七、エゼ二・七

ヨナ
死んだ方が良.
神
思直.
荒布
悔改て願う.

叫び、「もう四十日すると、ニネベは滅ぼされる。」と[1]言った。
5 そこで、ニネベの人々は神を信じ、[2]断食を呼びかけ、[3]身分の高い者から低い者まで[4]荒布を着た。
6 このことがニネベの王の耳にはいると、彼は王座から立って、王服を脱ぎ、[1]荒布をまとい、灰の中にすわった。
7 王と大臣たちの命令によって、次のような[1]布告がニネベに出された。「人も、獣も、牛も、羊もみな、何も味わってはならない。草をはんだり、水を飲んだりしてはならない。
8 人も、家畜も、荒布を身にまとい、ひたすら神に[1]お願いし、おのおの悪の道と、[2]暴虐な行ないとを[3]悔い改めよ。
9 [1]もしかすると、神が思い直してあわれみ、その燃える怒りをおさめ、私たちは滅びないですむかもしれない。」
10 神は、彼らが悪の道から[1]立ち返るために努力していることをご覧になった。それで、神は彼らに下すと言っておられたわざわいを[2]思い直し、そうされなかった。

4

1 ところが、このことはヨナを非常に不愉快にさせた。ヨナは[1]怒って、
2 主に祈って言った。「ああ、主よ。私がまだ国にいたときに、このことを申し上げたではありませんか。それで、私は初めタルシシュへ[1]のがれようとしたのです。私は、あなたが[2]情け深く、あわれみ深い神であり、[3]怒るのにおそく、恵み豊かであり、わざわいを思い直されることを知っていたからです。

ヨナ 死んだ方が良い.
ヨナ 思直

3 主よ。今、どうぞ、私のいのちを[1]取ってください。私は生きているより[2]死んだほうがましですから。」
4 主は仰せられた。「あなたは当然のことのように怒るのか。」
5 ヨナは町から出て、町の東のほうにすわり、そこに自分で仮小屋を作り、町の中で何が起こるかを見きわめようと、その陰の下にすわっていた。
6 神である主は一本の*とうごまを[1]備え、それをヨナの上をおおうように生えさせ、彼の頭の上の陰として、ヨナの不きげんを**直そうとされた。ヨナはこのとうごまを非常に[2]喜んだ。
7 しかし、神は、翌日の夜明けに、一匹の虫を備えられた。虫がそのとうごまをかんだので、とうごまは枯れた。
8 太陽が上ったとき、神は焼けつくような[1]東風を備えられた。[2]太陽がヨナの頭に照りつけたので、彼は衰え果て、[3]自分の死を願って言った。[4]「私は生きているより死んだほうがましだ。」
9 すると、[1]神はヨナに仰せられた。「このとうごまのために、あなたは当然のことのように怒るのか。」ヨナは言った。「私が死ぬほど怒るのは当然のことです。」
10 主は仰せられた。「あなたは、自分で骨折らず、育て

---

5 ①マタ一二・四一、ルカ一一・三二 ②ヨエ一・一四、③エレ三一・三四 エゼ二六・一六、④創三七・三四 IIサム三・三一
6 ①エス四・一、三、エレ六・二六 エゼ二七・三〇、三一、ダニ九・三 ヨブ二・八
7 ①ヨナ三・五、II歴二〇・三 エズ八・二一
8 ①ヨナ一・六、一四、②イザ五九・六 ③イザ一・一六、一七、五五・六、七、五八・六、エレ一八・一一
9 ①ヨナ一・六
10 ①I列二一・二七–二九、エレ三一・一八、②出三二・一四、エレ一八・八、二六・三、アモ七・三、六
1 ①ヨナ四・四、九、マタ二〇・一五 ルカ一五・二八
2 ①ヨナ一・三、②→II歴三〇・九 ③→ヨエ二・一三
3 ①I列一九・四、②ヨナ四・八 ヨブ七・一五、一六
6 * 別訳「ひょうたん」 ①ヨナ一・一七 ** 直訳「から救い出そうとされた」 ②アモ六・一三
8 ①エゼ一九・一二、ホセ一三・一五 ②詩一二一・六、イザ四九・一〇 ③I列一九・四、④ヨナ四・三
9 ①ヨナ四・四

てもせず、一夜で生え、一夜で滅びたこのとうごまを惜しんでいる。
11 まして、わたしは、この[1]大きな町[2]ニネベを[3]惜しまないでいられようか。そこには、[4]右も左もわきまえない十二万以上の人間と、[5]数多くの家畜とがいるではないか。」

---

11 ①ヨナ一・二、②ヨナ一・二 ③ヨナ三・一〇、④申一・三九 イザ七・一六、⑤詩三六・六

3:1-9
3:10-4:4. 5-6
4:7-9. 10-11

ニネベに預言せよ
王の反応.
死んだ方がまし. とうごま
死んだ方がまし ニネベ.

思い直してあわれむ.

あわれみ. 思い直す.
なぐさめる

荒布ー滅び.
悔改.

1:1-6.
1:7-17
2:1-10

ニネベに預言せよ
水夫の反応.
ヨナをいけにえに
ヨナの祈りのいけにえ.

願いを聞いて救う.

激しい怒り.
滅び.